

# 「街中歩く仕掛けを」

高岡フォーラムで 橘市長ら意見交換

持続可能な社会基盤づくりと地方再生を目指す「建設トップランナーフォーラムin富山」(富山新聞社など後援)は8日、高岡市のウイング・ウイング高岡で開かれた。講演やパネル討論などを通して、約二百五十人がま



地域ブランド創出のあり方について語る5氏—高岡市のウイング・ウイング高岡

えた。建設業経営者とその支援者らでつくる任意団体「建設トップランナーフォーラム」(東京)が主催した。パネル討論では、米田雅子慶大教授を進行役に、橘慶一郎高岡市長

上西康文内閣府地域活性化統合本部事務局長代理、清水慎一JTB常務取締役、菅野伸一北海道オホーツク21世紀を考える会長が意見を交わした。橘市長は世界文化遺産登録に向けた取り組みを振り返りながら「これまで点在していた瑞

龍寺や勝興寺などの文化財を一つのテーマでつなぐことができた」と強調した。ほかの三氏からは「リピーターを増やすために街中を歩けるような仕掛け作りが大切だ」といった意見が出された。

清水常務取締役、上西事務局長代理による講演、地域づくりを題材にした事例発表も行われた。